

平成 23 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時	平成 24 年 3 月 2 日 (金) 14:00~17:15	
場 所	管理棟 3 階 大会議室	
構 成 員	34 名 出席者 25 名	欠席者 9 名
1 号委員 (病院長) (議長代理)		西巻 正
2 号委員 (地域がん診療連携拠点病院長)		宮城 良充 (県立中部病院長)
		與議 實津夫 (那覇市立病院長)
3 号委員 (がん診療連携支援病院長)		諸喜田 林 (北部地区医師会病院長)
		安谷屋 正明 (県立宮古病院)
		松本 廣嗣 (県立八重山病院長)
4 号委員 (沖縄県医師会長)		宮城 信雄 (欠席)
5 号委員 (沖縄県歯科医師会長)		比嘉 良喬 (代理) 真境名勉
6 号委員 (沖縄県薬剤師会長)		神村 武之
7 号委員 (沖縄県看護協会会長)		奥平 登美子 (欠席)
8 号委員 (沖縄県政策参与)		玉城 信光
9 号委員 (沖縄県福祉保健部長)		宮里 達也 (欠席)
10 号委員 (がんセンター長)		増田 昌人
11 号委員 (医療福祉支援センター長)		村山 貞之 (欠席)
12 号委員 (薬剤部長)		宇野 司
13 号委員 (看護部長)		川満 幸子 (代理) 下地孝子
14 号委員 (事務部長)		原田 隆治
15 号委員 (各拠点病院より 2 名)		玉城 和光 (県立中部病院血液・腫瘍内科部長) (欠席)
		上田 真 (県立中部病院乳腺外科部長)
		友利 寛文 (那覇市立病院外科部長)
		宮里 浩 (那覇市立病院外科部長) (欠席)
16 号委員 (各支援病院より 1 名)		柴山 順子 (北部地区医師会病院看護部長)
		砂川 一哉 (県立宮古病院外科部長) (欠席)
		伊良皆香代 (県立八重山病院看護師長) (欠席)
17 号委員 (患者関係の立場の者)		吉田 祐子
		伊江 淑美 (欠席)
		三木 雅貴
18 号委員 (有識者)		埴岡 健一 (特定非営利活動法人日本医療政策機構理事)
		山城 紀子 (ジャーナリスト)
		天野 慎介 (特定非営利活動法人グループ・ネクサス理事長)
19 号委員 (琉大病院長が必要と認める者)		砂川 元 (琉大病院歯科口腔外科長)
		吉見 直己 (琉大病院病理部長)
		須加原一博 (琉大病院麻酔科長)
		西巻 正 (琉大病院第一外科長) (再掲)
部会説明者	緩和ケア部会長 がん登録部会長 研修部会長 相談支援部会長 地域ネットワーク部会 普及啓発部会 がん政策部会長	(代理) 伊藤昌徳 (代理) 仲本奈々 中森 えり 樋口 美智子 佐村 博範 (欠席) (代理) 高橋 唐行 天野 慎介
陪席者		前川 守秀 (沖縄県福祉保健部医務課医務医療班主任)

資料確認 増田委員から資料の確認があった。

- ・議事要旨の確認 増田委員から第3回の議事要旨（平成23年12月2日開催）の確認があった。
- ・議事録の確認 増田委員から第3回の議事録（平成23年12月2日開催）の確認があった。

報告説明事項

1. 平成23年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事会について

増田委員から資料3に基づき、2月6日に開催された幹事会について説明があり、本協議会報告事項及び審議事項等が話し合われたとの説明があった。

2. 沖縄県がん診療連携協議会・部会委員一覧

増田委員から資料4に基づき、本協議会委員名簿、幹事会名簿及び7つの部会名簿に変更等はない旨報告があった。

3. 埴岡委員からの報告

埴岡委員から資料5に基づき、国のがん対策推進協議会は、第2期がん対策推進計画の基本計画の諮問と答申が昨日（3/1）行われた旨報告があった。

主な事項は、次のとおりであった。

・問題意識として

- ①地域の創意工夫が一番大事である。
- ②「六位一体型」で一緒につくるというプロセスが大事である。
- ③効果をもたらす施策を吟味する。
- ④PDCA（計画、実施、評価、改善）サイクルが働く仕組み作りが必要である。

・県のがん計画の作り方に関する主な留意事項として、

①都道府県による都道府県計画の策定について

「都道府県がん対策推進計画」の見直しが必要である。

②プロセスを踏んだ計画策定について

がん対策の評価に資する医療やサービスの質も含めたわかりやすい指標の策定について必要な検討を行い、施策の進捗管理と必要な見直しを行う。

・国の役割として、

- ①患者・現場・地域の声に基づいた計画を作成すること。
- ②プロセスを踏んだ計画策定が必要である。
- ③評価方法を育てながら、継続的なPDCAサイクルを行う。
- ④沖縄発の「がん計画策定・実施プロセスモデル」を作成する。

4. 天野委員からの報告

天野委員から資料6に基づき、厚生労働省がん対策推進協議会から厚生労働大臣に対して、がん対策推進基本計画の答申が行われた旨報告があった。

なお、がん対策基本法については、厚生労働大臣ががん対策推進基本計画を作成することになっており、これを閣議決定した後に国会報告というプロセスになっている旨説明があった。

主な質疑応答は、次のとおりであった。

- ・小児がん拠点病院を作る動きがあるのか。
- ・小児がん拠点病院を設置する事を含めて国の予算が4億円付いている。
- ・基本計画自体前回より進歩していると思うが、国の計画自体はどの程度のレベルなのか。
- ・実際に医療の質がどうなったかということについては、十分な検討が行われないまま第2期の計画が策定されているというのが個人的な印象である。

・吉田委員から配付資料の「沖縄県がん対策推進条例(案)」に基づき、沖縄県の条例の状況等について説明があった。

また、いつ頃制定されるのかとの質問があり、条例制定は平成23年度に行い、平成24年4月1日から施行されれば良いとの説明があった。

審議事項

1. 緩和ケア部会「平成24年度事業計画と予算案」について

伊藤氏（緩和ケア副部会長）から、資料7に基づき、「平成24年度事業計画と予算案」について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2. がん政策部会「平成24年度事業計画と予算案」について

天野委員（がん政策部会長）から資料8に基づき、「平成24年度事業計画と予算案」について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

事業計画として、①「沖縄県がん対策推進計画に向けた提案書」の策定 ②「平成25年度沖縄県のがん対策に向けた提案書」の策定 ③「沖縄県がん対策に関するタウンミーティング」の開催を計画している旨説明があった。

また、タウンミーティングに関する予算として、タウンミーティングに参加いただける講師の謝金として12万円、タウンミーティング開催に係る会場費として8万円、合計20万円を計上している旨説明があった。

3. がん登録部会「平成24年度事業計画と予算案」について

仲本氏（がん登録部会）から資料9に基づき、「平成24年度事業計画と予算案」について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、対策項目として、①地域及び院内がん登録の実施をするために情報提供体制を強化する必要がある。 ②地域がん登録作業の労に対する情報還元体制を強化する必要がある。 ③実務者のレベルアップ ④詳細な院内がん登録の実施 ⑤がん診療の質の把握 であるとの説明があった。

4. 研修部会「平成24年度事業計画と予算案」について

中森氏（研修部会長）から資料10に基づき、「平成24年度事業計画と予算案」について、平成23年度と違うところは（実は今年度から始まっているが）、医師向けの放射線及び化学療法の副作用対応を含む研修会が拠点病院の要件として必須化されている旨説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、事業内容としては1～8までであるが、特に大きな変更はない旨説明があった。

5. 相談支援部会「平成24年度事業計画と予算案」について

樋口氏（緩和ケア部会長）から資料11に基づき、「平成24年度事業計画と予算案」について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、施策として、1～10の施策説明があり、部会の予算として、全体として65万3,200円計上している旨説明があった。

6. 地域ネットワーク部会「平成24年度事業計画と予算案」について

増田委員（がんセンター長）から資料12に基づき、「平成24年度事業計画と予算案」について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

対策項目として2つ、施策として7つ計画されている旨説明があった。

また、予算については、病院別の予算になるので、琉大病院はトータルで83万円となり、県立宮古病院が7万4,800円、八重山病院が8万4,200円ということで、残りの北部病院、中部病院、那覇市立病院は一応、地域ネットワーク部会に関しては予算の支出はないとの説明があった。

7. 普及啓発部会「平成24年度事業計画と予算案」について

高橋氏（普及啓発副部会長）から資料13に基づき、「平成24年度事業計画と予算案」について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、対策項目は4つあるが、昨年とダブっている項目もある旨説明があった。

8. (地域ネットワーク部会)医療機能調査アンケート内容について

増田委員（がんセンター長）から資料14に基づき、医療機能調査アンケート内容について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

9. (緩和ケア部会)緩和ケアパンフレットのがんを診療している医療機能への配布について

伊藤氏(緩和ケア副部長)から資料15に基づき、緩和ケアパンフレットのがんを診療している医療機能への配布について、このパンフレットは、ホームページからダウンロード可能になっており、各医療機関でダウンロードして印刷して配布いただくという形を考えている旨説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

10. (相談支援部会)『患者のためのチェックリスト』に対する医師による確認文書について』の発行と配布について

増田委員(がんセンター長)から資料16に基づき、『患者のためのチェックリスト』に対する医師による確認文書について』の発行と配布について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

11. 平成24年度協議会及び幹事会の開催日時について

増田委員(がんセンター長)から資料17に基づき、平成24年度協議会及び幹事会の開催日時について、第1案から第3案までの説明があり、審議の結果、第2案が承認された。

12. その他

増田委員(がんセンター長)から「テレビ会議の実施について」説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

当面は、7つの部会の定例会にテレビ会議を実施することとし、費用に関しては、メイン会議用に、琉大病院の費用がトータルで月額の使用料も含めて10万円程度で、支援病院の3病院として約8,000円の支出をお願いしたい旨説明があった。

報告事項

1. 県の平成24年度「がん対策」関連概算予算の内訳と対策項目の提示について

前川氏(県医務課)から資料18に基づき、県の平成24年度「がん対策」関連概算予算の内訳と対策項目の提示について、総額としては、平成24年度のがん対策の当初予算が概算要求額で3億7,727万8,000円となっており、平成23年度は6億1,994万9,000円でしたので、2億4,267万1,000円の減となるとの報告があった。

主な質疑応答は、次のとおり。

- ・沖縄県として今のがん診療を担保する最後の砦となる病理医の現状をどう考えて、どう認識しているのか、もう一つは、そういった現状を踏まえて病理医を育成する考えはあるのかどうか。
- ・当然、病理医、がん治療について必要だと思っていますので、できれば養成とかにつながるよう検討していきたい。
- ・資料18のがん検診等管理事業費の中で、82万円から570万円に増えて、プラス490万円と増えているが、平成24年度と平成25年度の2年間にがん罹患者の生存確認調査を行う新規事業と理解して良いか。
- ・そう理解して良い。

2. 地域統括相談支援センターの活動報告について

増田委員(がんセンター長)から資料19に基づき、地域統括相談支援センターの活動報告に関し、10月1日に発足した沖縄県地域統括相談支援センターの事業報告について説明があった。

3. (相談支援部会)「患者必携」改訂版作成の進捗状況について

樋口氏(相談支援部会長)から資料20に基づき、「患者必携」改訂版作成の進捗状況について、計5回の編集会議を開催し、改訂版を作成した旨報告があった。

引き続き、渡邊氏(国立がん研究センター)から国立がん研究センターに関する活動報告について説明があった。

4. (普及啓発部会)「メディア・セミナーin沖縄」の開催について

高橋委員(普及啓発副部長)から資料21に基づき、「メディア・セミナーin沖縄」の開催につい

て、明日（3／3）行うことになっている旨報告があった。

5. (がん登録部会)平成23年度がん登録研修会について

仲本氏(がん登録部会)から資料22に基づき、平成23年度がん登録研修会について、3回(5月、7月、11月)研修会を開催し、合計202名の参加者であった旨報告があった。

6. (がん登録部会)平成23年度がん登録研修会の評価について

仲本氏(がん登録部会)から資料23に基づき、平成23年度がん登録研修会の評価について、アンケートを実施した結果、研修会のニーズも高いことから、基礎知識を身につけた実務者が増えて、沖縄県の地域がん登録の精度向上をしていけるよう今後も研修会の企画開催に取り組んでいきたいとの報告があった。

7. (緩和ケア部会)平成24年度緩和ケア研修会の日程について

伊藤委員(緩和ケア副部長)から資料24に基づき、平成24年度緩和ケア研修会の日程について、年度の開催日時が11月1日から翌年の10月31日の間に実施している旨報告があった。

8. (緩和ケア部会)ホスピス緩和ケアフォーラムについて

増田委員(がんセンター長)から資料25に基づき、ホスピス緩和ケアフォーラムについて、今年の1月8日に沖縄都ホテルでホスピス緩和ケアフォーラムを開催し、合計313名の参加があった旨報告があった。

各部会報告

(1) 緩和ケア部会

伊藤氏(緩和ケア副部長)から資料26に基づき説明があり、平成23年度の事業計画について実績報告があった。

(2) がん政策部会

天野委員(がん政策部会長)から資料27に基づき説明があり、平成23年度の事業計画の評価について報告があった。

(3) がん登録部会

仲本氏(がん登録部会)から資料28に基づき説明があり、がん登録部会で特に積極的に取り組んだ3点(施策7、8、事業の4)について報告があった。

(4) 研修部会

増田委員(がんセンター長)から資料29に基づき説明があり、今年度の事業計画の評価と予算の執行状況について報告があった。

(5) 相談支援部会

樋口氏(相談支援部会長)から資料30に基づき説明があり、地域の療法情報の改訂等については、事業計画どおり実施したが、患者家族満足度調査の調査分析及び相談内容の分析等については、来年度に調査や分析が持ち越しとなった旨報告があった。

(6) 地域ネットワーク部会

増田委員(がんセンター長)から資料31に基づき説明があり、今年度は、がん診療を行っている医療機関には診療機能に関する調査を行い、八重山・宮古・久米島・北部では、患者調査をする予定だったが、現在、県の医療機能調査のほうに移行できる予定ということもあって、中途になっている旨報告があった。

(7) 普及啓発部会

高橋委員(普及啓発副部長)から資料32に基づき説明があり、メディア・セミナーに関しては、

明日（3／3）開催するが、中高生に対するポスターコンテスト等に関しては、ポスターコンテストは行ったが、アンケート調査等はできなかった等報告があった。

（8）その他

3月末で終了される、患者関係委員の吉田祐子さん、伊江淑美さん、三木雅貴さん、それから有識者の山城紀子先生、埴岡健一先生、天野慎介先生が2年間、沖縄県がん診療連携協議会委員をお務めいただいたことに対し、謝意があった。